

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 015	提案機関名 一般社団法人神奈川県畜産会
要望問題名 かながわ鶏の安定的供給体制の整備と品質の均一化のための飼養管理技術標準化	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 かながわ鶏の引き合いは強くさらなる生産量の増加が求められているが、そのための畜産技術センターの素雛の供給増産には、安定的に健康なひな供給が必須であり、そのための生産体制の強化が必要である。また、かながわ鶏の発育や肉質等の品質のばらつきがみられ市場価値が下がってしまう可能性があることから、専用飼料の開発とともに、生産技術指標を明らかにするなど飼養管理技術の標準化に努めていただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) かながわ鶏の飼養管理技術の確立（平成29年度～令和3年度） 地域資源を活用したかながわ鶏専用飼料の開発（令和元年度～2年度）			
対応の内容等 かながわ鶏のひな供給を担う当所は、種鶏場、ふ化場として、極めて高い衛生管理が求められます。ひなを安定的に供給するためには種鶏場、ふ化場としての要件を備えた施設の整備が必須であり、生産体制について畜産課と検討しています。 また、現状では生産者により異なる飼料が使われており、飼料の統一により鶏肉の斉一化を図れるよう、かながわ鶏に適した栄養価の飼料、鶏肉に付加価値を付与する飼料について検討しているところです。 「かながわ鶏飼養管理の手引き」に示している生産技術指標については、試験結果を踏まえて内容を見直し、普及指導課と連携して指導していきます。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			